

世界に羽ばたくアニメーター等の育成支援事業

協定事業者 募集要項



令和7年5月

東京都産業労働局商工部創業支援課

東京コンテンツインキュベーションセンター

1. 目的

コンテンツ産業は、世界に誇る産業領域であり、成長産業でもあるため、東京都は、コンテンツ産業のさらなる活性化に向けた様々な取組を行ってきた。その取組の一つとして、これまでコンテンツ関連産業に特化した創業支援施設「東京コンテンツインキュベーションセンター (TCIC)」の運営を行っており、本領域での起業を目指す方を対象に、事業創出から法人設立、資金調達、海外展開まで一貫通貫で支援を行い、コンテンツ産業の裾野拡大に向けた取組を実施してきた。

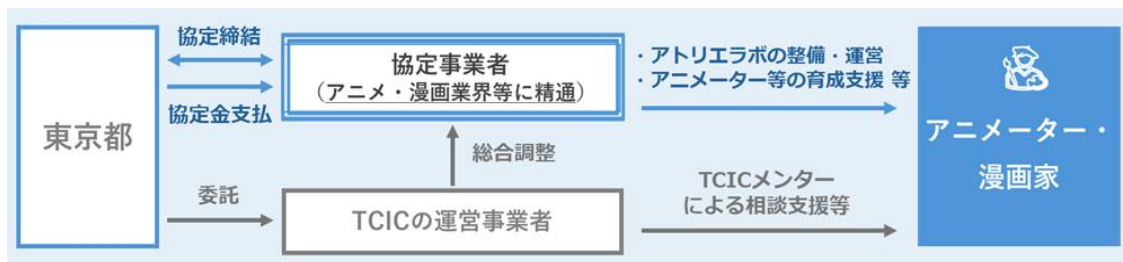
昨今、ブロックチェーンや生成AIを始めとしたデジタル技術の革新により、アニメや漫画を始めとしたコンテンツ産業においてデジタル領域が拡大傾向にあり、デジタル技術等を活用し、自社IPを軸とした新たなビジネスモデルが生まれつつある。

コンテンツ産業の一層の裾野拡大及び活性化を図るため、TCIC内にデジタル領域で活躍するアニメーター等の育成や作品の制作等が行える場（以下、「アトリエラボ」という。）を整備するとともに、先端技術の活用指南やデジタル領域における事業展開をサポートする取組を実施する。

2. 事業概要

- (1) 東京都が本事業実施事業者（共同事業体も可。以下、「協定事業者」という。)) 1 者を公募・採択し、協定を締結する。
- (2) 採択にあたっては、外部有識者を含む選定委員会により審査を行う。
- (3) 協定事業者は、TCIC 内の一部区画にてアニメーター等の制作活動の場としてアトリエラボを整備するとともに、デジタル技術を活用した自社IPの創出・育成等によりデジタル領域での事業展開を後押しするなど、アニメーター等の育成及び支援に取り組む。
- (4) 協定事業者に応募する者は、応募時に協定金見積額及び事業に係る KPI を設定し、設え・装飾については実費相当、KPI についてはその達成度合いに応じて、東京都から協定金の支払いを受ける。
- (5) 協定事業者は、協定に基づく取組（以下、「協定事業」という。）を令和9年度末まで進めるとともに、定期的に東京都にその状況を報告する。
- (6) 協定金は、設え・装飾については東京都による実費額の精査により、また、KPI については外部有識者を含む KPI 評価委員会における達成状況等の評価により算定する。

【事業スキーム図】



3. 協定事業者の公募

(1) 協定事業者の要件

協定事業者は、TCIC という場を活かしてアニメーター等のクリエイターの育成・協業に向け、協定事業者自身が有する強みを生かした事業の実施に取り組む必要があることから、その要件は以下のとおりである。

- (ア) 東京都のコンテンツ支援施策等を理解し、東京・日本のコンテンツ産業の裾野拡大を、東京都や他の事業者と連携して、発展させる意欲を有する。
- (イ) 協定事業者自身の有する知見、ノウハウ及びネットワークを活かし、アニメーター等のコンテンツ制作から事業化、さらには事業展開まで効果的に実施することのできる事業推進力を有する。
- (ウ) アニメーター等が、デジタルコンテンツの制作や事業化、事業展開等を目指す上で抱える課題について理解力を有する。
- (エ) アニメ等のコンテンツ制作の場の整備及びアニメーター等の育成等の支援実績を有する。
- (オ) デジタルコンテンツの制作や事業化、事業展開等を行うアニメーター等への投資や協業を見込める国内外の多様な支援者等とのネットワークを有する。
- (カ) デジタルコンテンツの制作や事業化、事業展開等の実践事例の認知度向上・成果発信に資する発信力を有する。
- (キ) 事業計画策定や進捗管理を行うとともに、東京都との連絡調整を円滑に行うマネジメント力を有する。

(2) 協定事業者の役割

(ア) アトリエラボの企画・運営

アニメーター等が、デジタル技術の活用を前提としたコンテンツの企画から作画、音声の収録、楽曲の作成、編集まで一貫通で行うことができるよう、機器やソフトウェア等が整ったアトリエラボを TCIC 内に整備し、運営を行う。特に、アトリエラボの運営にあたっては、オペレーター等を配置し、アニメーター等へのコンテンツ制作、機器の個別レクチャーや相談対応等を行うこと。

なお、アトリエラボの整備及び運営にあたっては、必要となる全般的な調整（区画管理、必要な官公庁協議、届出を含む）を行うものとする。

また、アトリエラボの対象区画については別紙 1、東京都が設置する什器類については別紙 2 のとおりとし、アトリエラボの運営に必要な機器やソフトウェア等の持込み、整備、維持管理は協定事業者が行うものとする。

アトリエラボの運営開始時期は令和 7 年 10 月とし、利用可能時間は平日午前 10 時から午後 8 時までとする。

（イ） アニメ・漫画産業の裾野拡大に向けた機運醸成

アニメ・漫画産業において、事業展開を目指すクリエイター・起業家等を対象とした、デジタル技術を活用した自社 IP の創出・育成及びデジタル領域での事業展開など時流に応じた新たなビジネスモデル構築の機運醸成に向けたセミナーやシンポジウムを実施する。募集においては、TCIC のホームページを活用し、対象者は広く募集を行うこと。

なお、初回実施時期は令和 7 年 8 月とする。

（ウ） アニメーター等の育成プログラムの実施

アニメーター等を対象とした、アトリエラボに整備する機器や先端技術の活用指南、デジタル領域での事業展開等につながる中長期的な（最大 1 年以内の）プログラムを実施する。対象アニメーター等は毎年度 10 者程度を募集・選定する。募集に際しては、TCIC のホームページを活用する。

特に、対象アニメーター等に対し、事業化や法人設立につながるよう、TCIC の利用者・関係者と連携した支援を行う。

なお、育成プログラムの開始時期は令和 7 年 10 月とし、協定締結後、早期に本プログラムの募集を行うこととする。

（エ） アニメーター等の事業成長に向けた出口戦略

育成プログラムにより支援を行ったアニメーター等を対象とした、コンテンツ事業者との協業や投資家からの資金調達等の事業化及び事業拡大、企業成長につながる出口戦略を実施する。

なお、実施にあたっては、TCIC の利用者・関係者と連携すること。

（オ） 本事業の発信

支援するアニメーター等の活動やその成果等について、他のアニメーター等のクリエイターやアニメーター等を志す方など様々な方に対し、その意義や魅力などを広く伝えることができるよう、効果的な手法で発信する。また、東京都においても HP 等で発信できるよう、そのコンテンツを提供する。

（カ） 設え・装飾

TCIC において、上記（ア）～（オ）に資する設え・装飾を行う。アトリエラボは TCIC 内の他のスペースへの騒音や振動等の影響を及ぼさないよう十分配慮し、その予防策を講じること。また、本事業及び TCIC の目的等に沿ったコンセプトの

もと、別紙3の内容を実施する。

(キ) 事業進捗及び KPI 達成状況の報告

企画書に基づき、半期に一度（初年度は年度末のみ）、当該事業期間の事業報告及び KPI の達成状況について、根拠資料とともに東京都に報告する。

(3) 実施期間

協定締結の日から令和 10 年 3 月 31 日まで

(4) アニメーター等の選定

協定事業者が支援するアニメーター等の選定について、少なくとも以下の要件を備えたものとする。

- ① 東京都内においてアニメ・漫画産業で事業展開を行っていること、又は行おうとしていること。
- ② 創業前及び創業後原則 10 年以内であること。
- ③ 次のいずれにも該当しないこと。
 - ア) 破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者
 - イ) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成 3 年法律第 77 号)第 32 条第 1 項各号に掲げる者
 - ウ) 民法第 90 条に定める公序良俗に反しない事業及び企業体であること。
- ④ 事業目的実現のために適当な事業者及び個人であること。
- ⑤ 本事業参加のための十分な体制を確保すること。
- ⑥ 本事業の趣旨を理解し、選定期間中、意欲的かつ継続的に取り組む姿勢を示すこと。

4. 東京都と協定事業者との連携

(1) 公募・審査

東京都は、「5. (1) 応募要件」を満たす事業者の提案内容を選定委員会により審査し、採択を行う。

(2) 協定の締結

東京都は、採択した協定事業者と採択期間中の連携内容等を規定する協定を締結する（別紙 4 参照）。

(3) 東京都の協定事業者に対する支援等の内容

(ア) 協定金の支払い

東京都は、3 (2) (カ) に記載する設え・装飾の実費額に関する精査を行い、ま

た、3（2）（ア）～（オ）に記載するアニメーター等の育成及び事業展開、事業成長を後押しする取組に係る KPI の達成状況及び事業全体の成果を評価し、設え・装飾に係る実費相当額（以下「実費相当額」という。）及び KPI 設定業務に係る評価額（以下「評価額」という。）を、協定金として、3 か年度で最大 1 億 8,000 万円を支払う。

※詳細については、別紙 5「世界に羽ばたくアニメーター等の育成支援事業協定金支払いに係る算出方法について」参照

①実費相当額

東京都は、3（2）（カ）の役割としての設え・装飾に係る経費を精査し、実費相当額として初年度末に、上限 1,500 万円を支払う。

②評価額

東京都は、3（2）（ア）～（オ）の役割として取組に係る経費に関し、KPI の達成状況及び事業全体の成果を評価し、基準額及び成果報酬額の合計額を初年度 4,500 万円、次年度以降 6,000 万円を上限に支払う。

a.基準額

応募時に東京都及び協定事業者が設定する KPI 項目（※）ごとの経費となる。この経費は、KPI 項目を達成するために必要な費用を考慮し、設定する。KPI 項目ごとの達成状況等に応じ、支払額が変わる。

なお、基準額の上限は、初年度 3,500 万円、次年度以降 5,000 万円とする。

※KPI 項目設定方法及び評価方法について

設定にあたり、可能な限り定量的かつ検証可能な指標を提案すること。また、半期に一度（初年度は年度末のみ）に KPI の達成度合い及び事業全体の成果に基づき評価を行い、中間結果と年度末時点（初年度は年度末時点のみ）での評価を踏まえた総合判断を基に、単年度毎に協定金の支払金額が確定する。協定事業者は、上記の評価を受けるに際して、KPI 項目の達成状況が客観的に確認できる根拠資料（各種契約書、議事録等）を毎月東京都に提出する。

b.成果報酬額

KPI 評価委員会による事業全体の評価に応じ、上記基準額に上乗せして支払われる金額となる。

なお、成果報酬額の上限は、毎年度 1,000 万円とする。

③支払時期

原則として、東京都より実費相当額の精査・確定及び評価額の審査を経て、当該年度分の協定金を単年度毎に支払う。

（イ）建物の管理

東京都は、施設の施錠や警備、防災設備点検等の建物管理を行う。設備等の利用にあたっては、善良な管理者の注意義務を果たし、その義務違反により生じた損害は協定事業者が補填するものとする。

(ウ) TCIC ネットワークとの連携・調整等

東京都は、本事業が効果的に行われるよう、アニメーター等が TCIC に設置するセンターによる支援を受けられるようにするとともに、TCIC 利用者や関係者との連携・調整を行う。また、TCIC 公式のホームページや SNS 等の様々な媒体や各種イベントでの周知や発信について、協定事業者と連携して行う。

5. 協定事業者の応募方法

(1) 応募要件

以下の（ア）～（エ）の要件を満たす者を応募対象とする。なお、複数の事業者が提携し応募することも可能であるが、その場合は、代表事業者を決め、代表事業者が応募申請をすること（採択後、東京都は連携した複数事業者と協定を締結するが、協定金は代表事業者に支払う。）。

（ア）次のいずれかに該当すること。

- ① 株式会社、持分会社（合名会社、合資会社、合同会社）、監査法人、弁護士法人等のいわゆる士業に係る営利法人
- ② 特定非営利活動法人、一般財団法人、一般社団法人
- ③ 国立大学法人、公立大学法人、学校法人
- ④ 国、地方自治体、独立行政法人、公益財団法人等の公的機関

（イ）次のいずれにも該当していないこと。

- ① 破産手続開始の申し立てがなされたこと等により、実施事業の安定的な運営に疑義が生じていること。
- ② 法人事業税等を滞納していること。
- ③ 公共の安全及び秩序を脅かすおそれのある行為を行い、または将来において行うおそれがあること。
- ④ 所属・関連する法人その他団体又はその代表者、役員、使用人、従業者若しくは構成員に、暴力団（暴力団排除条例（平成 23 年条例 54 号。以下「暴排条例」という。）第 2 条第 2 号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員等（暴排条例第 2 条第 3 号に規定する暴力団員及び同条第 4 号に規定する暴力団関係者をいう。）が含まれていること。また、実施事業に暴力団、暴力団員等が介入していること。
- ⑤ 風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律（昭和 23 年法律第 122 号）第 2 条に規定する風俗営業、連鎖販売取引、ネガティブ・オプション（送り付け商法）、催眠商法、靈感商法を行うなど、公的事業の対象として社会通念上適切でないと判断されるものであること。
- ⑥ 政治活動、選挙活動、または、宗教活動を目的とする法人であること。
- ⑦ 国、地方自治体、公益法人等が実施する補助事業や助成事業において、不正等

の事故を起こしたことがあること。

(ウ)機密情報の取扱いについて、適切な手段・方法で保護できる体制を有していること。

(エ)その他、上記3(1)に記載する要件を有すること。

(2) 募集受付期間

令和7年5月19日(月)から同年6月13日(金)17時まで

(3) 質問の受付

本事業に関する質問については、下記アドレスまで電子メールで受け付ける。

締め切り：令和7年6月6日(金)

メールアドレス：info@tcic.metro.tokyo.lg.jp

(4) 応募様式提出前の意向表明

応募する意向がある事業者は、令和7年5月30日(金)12時までに事業提案書提出意向表明届を電子メールで提出する。

なお、意向表明届は事前に事業者の応募意向を確認する趣旨であり、意向表明後の応募辞退を妨げない。

(5) 説明会の開催

本事業の事業説明会を以下のとおりWEB上(Zoomを使用予定)令和7年5月23日(金)16時から開催する。

参加を希望する方は、開催日の前日(5月22日)17時までに、以下の参加申込フォームから申し込むこと。

申込後に、別途参加に必要なZoomのURL等を連絡する。

▼説明会 参加申込フォーム

<https://animator-ikusei-pjt.peatix.com>

(6) 応募様式の提出

下表で指定する応募書類の電子データを「8. 申込・問い合わせ先」担当宛にメールで送付する(合計データ容量が10MBを超える場合はデータを分けて送付)。なお、応募書類の提出後、2日(土日祝日除く)経過しても、事務局より応募受付完了のメールが届かない場合、「8. 申込・問い合わせ先」まで電話にて連絡すること(応募受付完了のメールが到着するまでは、応募受付完了となりませんのでご注意ください)。

※応募様式は、以下のホームページからダウンロード可

(<https://tcic.metro.tokyo.lg.jp/>)

No	書類	様式	提出形式
1	企画書（注1）	任意様式	PDF
2	応募フォーム	指定様式	Excel
3	様式1 KPI 設定説明書	指定様式	Excel
4	登記事項証明書（履歴事項全部証明書）の類（写）	—	PDF
5	事業者概要資料（既存の会社概要や定款等）	任意様式	PDF
6	体制図（複数の事業者が連携して協定事業に取り組む場合は、その役割分担を示した資料） （図表等を含めて簡潔に記載）	任意様式	PDF

注1：持込み機器等の一覧及び設え・装飾に係るレイアウト図、内装等設計資料を含む企画書は、プレゼンテーション審査にて使用する想定

6. 審査の流れ

（1）審査方法

有識者等で構成される審査会において、書類審査及びプレゼンテーション審査の二段階で審査を行う。

なお、プレゼンテーション審査は書類審査を通過した応募者のみを対象とし、令和7年6月下旬～7月上旬（予定）に行う。詳細は応募いただいた方に別途東京都より連絡する。

（2）審査基準

以下の基準 No.1～9 に基づき、点数は合計 100 点満点で審査を行う。

No	項目	内容
	基礎情報	・ 事業内容、財務情報 等
1	実施計画・実施体制・事業目的への適合性（10 点）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業及び TCIC の事業趣旨を理解しているか ・ 具体的かつ実効性の高い計画かつ協定金以上の成果を創出できる計画となっているか ・ アニメーター等の育成及び事業展開の後押しをできる十分な体制を構築しているか ・ 公的支援を受けるに相応しい本事業目的の実現に資する事業内容であるか
2	KPI 及び事業目標設定の妥当性（10 点）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の実施方針に資する KPI 及び事業目標が設定されているか ・ 事業の目標値は現実的かつ到達可能な設定となっているか ・ 事業計画と目標値に大きな乖離がないか

3	アトリエラボの企画運営の妥当性（20点）	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツの制作活動の場として充実した環境となるような機器及びソフトウェア等が具体的に提案されているか アニメーター等がアトリエラボを十分に活用できるようサポートが充実しているか
4	アニメ・漫画産業の裾野拡大に向けた機運醸成の妥当性（10点）	<ul style="list-style-type: none"> 世界で活躍するアニメーターや漫画家が講演を行うなど訴求力を有しているか 自社IPの創出や育成、デジタル領域での事業展開の機運が高まる取組となっているか
5	アニメーター等の育成プログラムの妥当性（15点）	<ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を活用し自社IP創出につながる取組となっているか 自社IPのデジタル領域での事業展開につながる取組となっているか 事業目的に即した選定方針になっているか
6	アニメーター等の事業成長に向けた出口戦略の妥当性（15点）	<ul style="list-style-type: none"> 育成プログラム採択者の事業成長につながる具体的かつ効果的な取組となっているか
7	設え・装飾の計画の妥当性（10点）	<ul style="list-style-type: none"> TCICのコンセプトを踏襲した設え・装飾としているか TCIC内の他のスペースへの騒音や振動等の影響に配慮しているか
8	発信力（5点）	<ul style="list-style-type: none"> 本事業の認知度向上に向けたブランディングやPRなどの実行が可能か 効果的な情報発信のためのターゲットや手法、媒体の知識ノウハウ等を有しているか
9	マネジメント力・実績（5点）	<ul style="list-style-type: none"> 本事業を円滑に進めるマネジメント力を有しているか 十分な実績を有しているか

（3）採択の決定

選定委員会による審査を踏まえ、最も高い得点を得た応募者1者を採択する。

7. 留意事項

- （1）協定事業者は、支援の実施にあたり、本要項及び協定書に記載の内容並びに各種関係法令等を遵守する必要がある。
- （2）応募に要する費用について、東京都は負担しない。
- （3）応募様式等は日本語で記載すること。

- (4) 本事業の内容・結果のうち公表可能な部分については、普及啓発のため、東京都より公表される可能性がある。
- (5) 協定事業者及び対象アニメーター等には、東京都が企画するイベントでの登壇等、本事業の情報発信等のためにご協力いただく場合がある。
- (6) 以下の場合には審査対象外とする場合がある。
- ・ 応募者が、法令等もしくは公序良俗に違反し、またはその恐れのある場合
 - ・ 応募内容に不備がある場合
 - ・ 応募者が、応募に際して虚偽の情報を記載し、その他東京都に対して虚偽の申告を行った場合
 - ・ 出資関係にある企業やグループ企業等の特定の企業群の利益のみを図る事業内容となっている場合
- (7) 応募にあたって提供いただく個人情報や機密を含む情報は、守秘義務を有する都として必要な範囲で共有、利用される。個人情報を含む情報は事前の承認なく第三者に提供することはない。

8. 申込・問い合わせ先

本事業の事務局として、東京都から事業者へ別途業務委託契約を行っています。本事業への申込・問い合わせは、以下の事務局までお願いします。

世界に羽ばたくアニメーター等の育成支援事業 運営事務局

〒164-0013 東京都中野区弥生町 2-4-17

受託者名：株式会社ツクリエ

電話番号：03-3383-4616

メールアドレス：info@tcic.metro.tokyo.lg.jp

企画書に関する留意事項

1. 企画書の作成について

(1) 様式及び添付資料

企画書の様式は提案者の自由とするが、A4 横で作成すること。

A4 横のプラットフォームに両面印刷で綴じ込むため、その点留意すること。

ただし、応募書類送付時には PDF 形式として送付すること。

(2) 留意事項

(ア) 表紙を作成すること。

(イ) 目次を記載すること。

(ウ) 提案事項の全体をまとめた概要を 2 頁以内で記載すること。概要は、採択時に公表されても問題ないものとする。

(エ) プレゼンテーション審査において、主として使用する部分（企画書本体部分）は表紙・目次・中扉・概要を除いて 30 頁以内とすること。企画書本体のほかに補足説明用の部分（企画書付属部分）を企画書に含めることは妨げないが、企画書全体として 100 頁を超えないこと（表紙、目次、概要は除く）。

(オ) ページ番号を記載すること。

(カ) フォントは自由とするが企画書の本文記載は 10 ポイント以上とすること（付属図表等に関する文字の大きさはこの限りではない）。

(キ) 各ページ右肩に当該頁が応募フォームのどの項目に該当する事項に関する記述なのか項目番号を示すこと。

(ク) 使用する言語は日本語とする。

(ケ) 表紙には、表題として「世界に羽ばたくアニメーター等の育成支援事業実施事業者企画書」と記載すること。

(コ) 個人名や会社名を記載しないようにすること。

(サ) 提出された企画提案書は返却しない。

(シ) 企画提案書の作成及び提出に必要な一切の経費は応募者の負担とする。

(ス) 企画提案書に記載された提案内容に係る一切の経費は全て事業提案額に含める。

(セ) 企画提案書作成に当たって第三者の著作権等に抵触する恐れのあるものは、応募者の責任において、適正に処理すること。

(3) 企画書に盛り込むべき内容

【全般的事項】

(ア) 東京都の戦略や TCIC 及び本事業の目的に適した提案内容とすること。

(イ) 本業務を実施するにあたっての体制（外部の主体も含む）

※複数事業者の提携による場合等は、その役割等がわかる体制図を必ず添付する

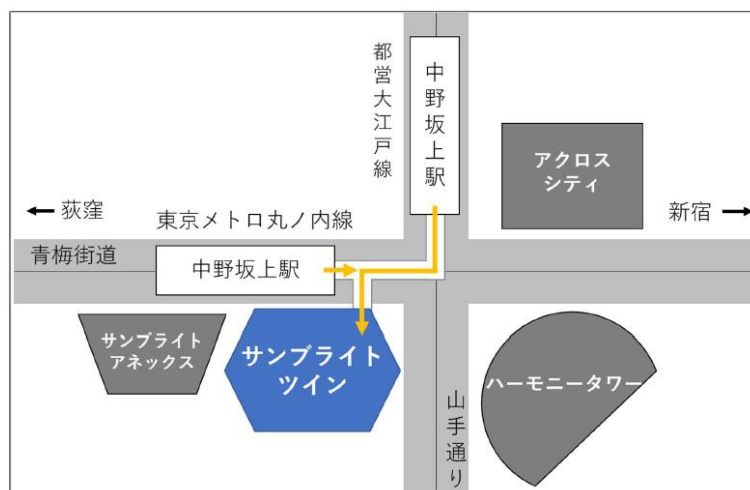
こと。

- (ウ) アトリエラボの整備や運営実績やアニメーター等への支援等、本業務を実施するに相応しい業務実績やその効果

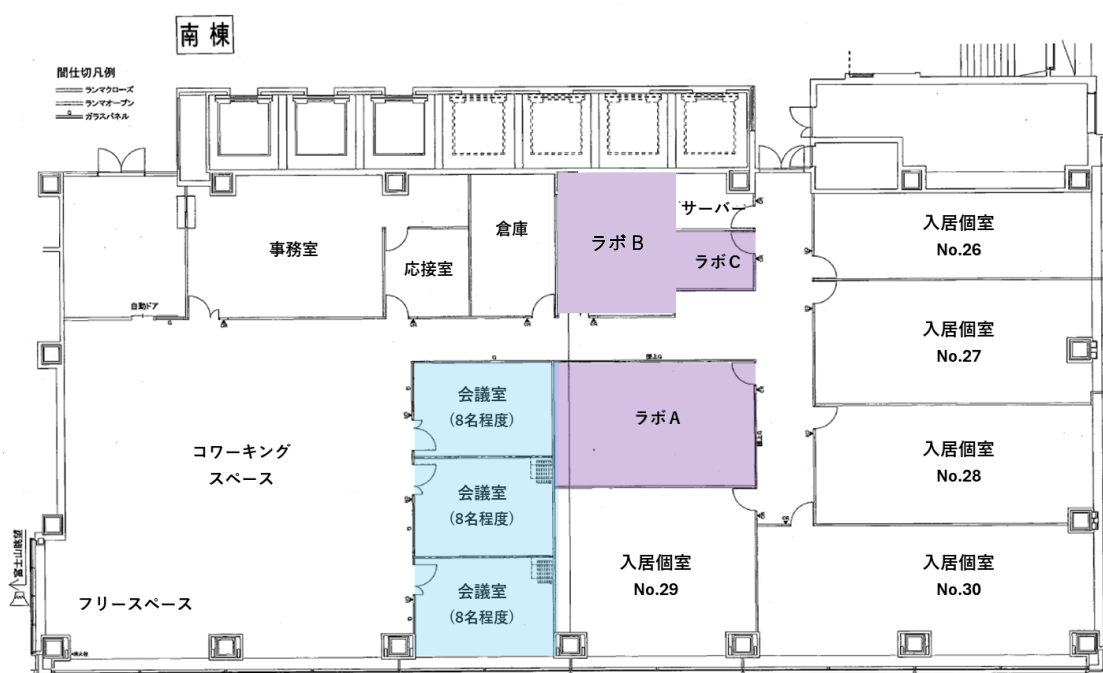
【業務内容に係る事項】

- (ア) アトリエラボの運営、設え・装飾、アニメーター等の機運醸成や育成プログラム、出口戦略の実施などに係るスケジュール
- (イ) 本事業を通して達成したい目標
- (ウ) 対象アニメーター等の募集及び選定方針・方法
- (エ) アトリエラボの運営方法及び効果の見込み
- (オ) TCIC のネットワークを活用した、クリエイターやコンテンツ事業者等との連携や協業につながる仕掛け
- (カ) TCIC プログラムとしての本事業の認知度向上のためのブランディングや PR 方策
- (キ) 持込み機器等の一覧及び設え・装飾に係るレイアウト図、内装等設計資料
- (ク) 東京都からの協定金以上の成果を創出するための具体的方策

案内図



配置図



■ アトリエラボ対象区画

■ アトリエラボ対象区画 (TCIC 会議室等と併用) ※1

※1 : TCIC 入居者等が会議室等として利用することを前提とし、その機能に影響を及ぼさない範囲で整備及び活用できるものとする

什器類

No.	名称	数量	寸法 (W×D×H)	品番 (メーカー)	区画
1	机	4	1,800×600×720	81F1LB-MX61 (オカムラ)	会議室 A
2	椅子	8	482×497×710	9314AE-FXW1 (オカムラ)	会議室 A
3	モニター	1	50 インチ程度	未定	会議室 A
4	机	4	1,800×600×720	81F1LB-MX61 (オカムラ)	会議室 B
5	椅子	8	482×497×710	9314AE-FXW4 (オカムラ)	会議室 B
6	モニター	1	50 インチ程度	未定	会議室 B
7	机	4	1,800×600×720	81F1LB-MX61 (オカムラ)	会議室 C
8	椅子	8	482×497×710	9314AE-FXW9 (オカムラ)	会議室 C
9	モニター	1	50 インチ程度	未定	会議室 C

1. 設え・装飾を実施する施設(アトリエラボ)の概要

アニメーター等のクリエイターがデジタル技術等を活用し、コンテンツの企画から作画、音声の収録・楽曲の作成、編集まで一気通貫にコンテンツ制作等を実施できるスペース

2. 設え・装飾の内容

- (1) レイアウト設計
- (2) 内装整備
- (3) 造作壁整備
- (4) 造作家具整備
- (5) サイン整備
- (6) 電気設備等整備
- (7) その他アトリエラボとして必要な整備
- (8) 諸官公庁協議等

なお、整備する仕上材、什器等は新品であること。

3. 設え・装飾にあたっての注意事項

(1) 諸官公庁協議

該当エリアについては、建築基準法上の事務用途に該当する点に留意する。造作壁等の新設に伴う防災設備等の設置にあたっては、諸官庁との協議・届出を行い、整備完了時期が遅れないように全体スケジュールを鑑みながら実施すること。

(2) 作業日時の調整

什器の搬入日等については、東京都及び建物管理者と協議の上決定する。

他の階に影響を及ぼす著しい騒音や粉塵、臭気等が発生する作業は平日午後 10 時から午前 6 時、土日祝日に限られる。

(3) 搬出入及び作業車両について

ビルの地下 2 階駐車場又は地上 1 階荷捌場より荷物用エレベーターによって搬入する。搬入の際に必要な手続き、駐車料金、警備の人員等、一切の負担は協定事業者がこれを負担すること。

(4) 施設内の養生の実施

協定事業者は、物品等の運搬・撤去の際、搬入口・床・エレベーター等に養生を行うなど、建物の損傷を防ぐこと。

養生を行う際は、必要に応じ、建物管理者と協議を行うこと。

協定事業者は、必要に応じ、契約期間が終了するまでの間、養生の状態を維持すること。